

平成24年度 川崎市地域自立支援協議会 こども部会報告

1 実施状況（平成24年8月～10月）

準備会 平成24年8月27日（月）15時から17時 川崎区役所7階第2会議室

第1回 平成24年10月4日（木）9時30分から12時 川崎市福祉センター3階第1会議室A

2 内容(1) 設置の経緯について共有

障害のある子ども（気になる段階を含む。）の発達の促進及び自立と社会参加の支援のため、障害の状態及び生活の実態等に応じて、障害のある子ども本人及びその家族等の意見をできる限り尊重しながら、関係機関が有機的に連携し、総合的な支援を実施することを目的に設置する。

←境界線を引くのは厳しくなっている。

←障害名がつかなくても、「障害児」には変わらない（支援の必要性は、数字に出ないこともある。）。

(2) サポートノート試行について

目的 障害のある子どものライフステージにおける様々な場面において、支援者にその特性を共有してもらい、各所属機関における適切な引き継ぎや、児から者への切れ目のない支援に資する。

概要 現在の試案を、試行対象機関に配布し、意見を集約して修正する。

←教育と福祉の横の関係を早いうちに作る必要がある。

←本当に必要な人に渡るためには、作成のための支援も必要となる。

←保護者だけではなく、専門機関とともに作っていく必要がある。

←補聴器等の器具や装具等の使い方や注意事項を書けた方がいい。

←親亡き後への思いを書いてはどうか。

←子ども期をもっとクローズアップしてはどうか。

(3) 川崎市内における課題について

児童の相談支援方法

←相談場所による格差がある、相談件数の増加への対応が必要、相談がどこへ行っても進まないで途切れてしまう、サービスがよく分からない、どこに相談すればいいのか分からない

重症心身障害児の支援

←ショート受入施設・事業所がほとんどない、医療的ケアに対応可能な看護師が少ない

在宅サービスについて

←通所通学や移動支援のスタッフ不足から希望があっても対応できない、放課後支援の受入先が少ない、ファミリーサポートを有効活用したい（保護者及び兄弟姉妹へ寄り添う支援が必要）、福祉から教育、教育から就職への移行支援が必要

3 次回こども部会

平成24年11月下旬から12月上旬を目途に現在日程調整中

定例会と共に、課題別に班を設けて議論する

平成24年度 障害者自立支援協議会こども部会委員名簿

(50音順、敬称略)

	氏名	所属等
1	相澤 寿美子	ひばりの会
2	阿佐野 智昭	川崎市発達相談支援センター副所長
3	大澤 清美	市立田島養護学校保護者会副会長
4	大森 裕子	(福)らぽおるの樹(宮前区こども部会委員)
5	岡安 玲	県立養護学校 教育相談コーディネーター
6	荻原 恭子	高津区こども支援室保育所等支援担当係長
7	小松 江美	ソレイユ川崎(麻生区こども部会委員)
8	小峰 慶也	当事者
9	部会長 鈴木 文治	田園調布学園大学教授
10	地村 明子	中部地域療育センターケースワーカー
11	塚崎 みゆき	こども本部こども家庭センター専門支援係長
12	西巻 奈美	(福)青丘社ほっとライン タイムケア事業管理者
13	副部会長 花澤 恭子	川崎市自閉症協会
14	宮川 淳子	総合教育センター塚越相談室指導主事
15	山崎 篤子	川崎市幼稚園協会加盟園主任
16	吉垣 君子	主任児童委員

【事務局】

1	大場 幸	障害者生活支援センターようこう相談支援専門員
2	北嶋 寛子	障害者生活支援センターふじみ相談支援専門員
3	鷺見 卓也	川崎市健康福祉局障害計画課職員
4	山口 佳宏	川崎市市民・こども局こども福祉課長
5	笹島 忠幸	川崎市市民・こども局こども福祉課障害児福祉係長
6	佐藤 雅美	川崎市市民・こども局こども福祉課職員